

しょうがくせい みな  
小学生の皆さんへ

つゆ ひび つづ ぜんいん じゆぎょう う しゅうかんちか す がっこう かお あ  
梅雨らしい日々が続いています。全員で授業を受けるようになって2週間近くが過ぎ、学校で顔を合わせて

いっしょ べんきょう しあわ かん  
一緒に勉強できるということだけでも、どれほど幸せなことかと感じていることでしょう。

せんじつ しょうがっこうげんかんまえ くだん ねんせい みおく とき  
先日、小学校玄関前の花壇のところで、1年生を見送っていた時のことです。ヒマワリがたくさん咲いている

のを見て、「ヒマワリ、きれいね。」と声をかけると「元気になる!」と返事が返ってきました。ヒマワリを見て

げんき たいけん だれ おとな い き  
元気になるという体験があったのでしょうか。それとも、誰か大人がそう言っているのを聞いて、そうなのだ

おも ねんせい わたし げんき きいろ こうか  
思ったのでしょうか。いずれにしても、1年生のこぼに私は元気をもらいました。黄色の効果でしょうか。そ

れとも、大胆な花の形でしょうか。ヒマワリを見ていると、前向きな気持ちになって、元気が出てくるのは

ふしぎ  
不思議です。

ヒマワリ(漢字では「向日葵」と書きます)は、太陽が動くことによって花の向きが変わることから生ま

れた名前です。いつも太陽に向かって大きく花を開くヒマワリ。その姿から、初代学院長マザー・マイヤーの

ことば おも だ  
言葉を思い出します。

「高きを望め。あなた方の眼は、もっとも高さものを望んでいるように。」

あなた方の一生は、高さものへの絶えざる努力であるように。」

おばやしせいしん かみさま ころも む い じぶん おも こ かみさま おも  
小林聖心では、よく、「神様に心を向けなさい」と言われます。それは、自分の思いを超えて、神様の思いに

ころも あ たか のぞ たか にんげんてき い み せいこう たか  
心を合わせることに、まさに、高さものを望むことです。高さものとは、人間的な意味で成功することや、高い

ひょうか え い み けつ たいよう む かみさま ころも  
評価を得ることを意味しているのでは決してありません。ヒマワリがいつも太陽に向かうように、神様に心を

む かみさま あい こ かみさま おも い かた どりょく つづ  
向け、神様に愛されている子どもとして、神様の思いにかなった生き方ができるよう、努力し続けなさいとい

うことでしょう。

しんがた かんせん ふたたび たか かつ く かえ  
新型コロナウイルスの感染が、再びひろがってきています。また、4月からの繰り返しになるのかしらと

そうぞう き おも とき かみさま かお む かみさま あお み  
想像するだけで気が重くなります。こんな時はあのヒマワリにならって、神様に顔を向け、神様を仰ぎ見るこ

とにしましょう。必ず元気をくださいます。

